



# 農業振興拠点施設 実施設計が完成しました



計についてお知らせしましたが、このたび実施設計が完成了しました。工事期間中は、周辺の皆さまにご迷惑とご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

拠点施設の情報については、今後も随時広報などでお知らせします。

## 基本構想について

本年4月から着工し、来年3月に竣工する予定となっています。工事期間中は、周辺の皆さまにご迷惑とご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

拠点施設の情報については、今後も随時広報などでお知らせします。

基本構想では、昭和25年の開校から地域を担う多くの人材を育んできた小清水高等学校の精神を受け継ぎ、小清水町の未来の発展に向けた新たな産業、雇用、人々を育てる拠点として活用することとした。

具体的には、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「雇用の創出」と創生総合戦略の「雇用の創出」に掲げる重点プロジェクトを推進するため、『地域の学びの場を新たなステージへ 小清水の未来を育む拠点づくり』を基本理念に、6

つの基本方針を掲げる産業ゾーンとして活用します。

### 基本方針

- ・通年雇用の場づくり
- ・農業担い手育成プロジェクト
- ・地域生産振興と販売力向上に向けた加工施設づくり
- ・地域のコミュニティ施設づくり
- ・小清水高校のメモリアル広場づくり
- ・温泉資源の有効活用

### ②商品製造室＆商品開発室

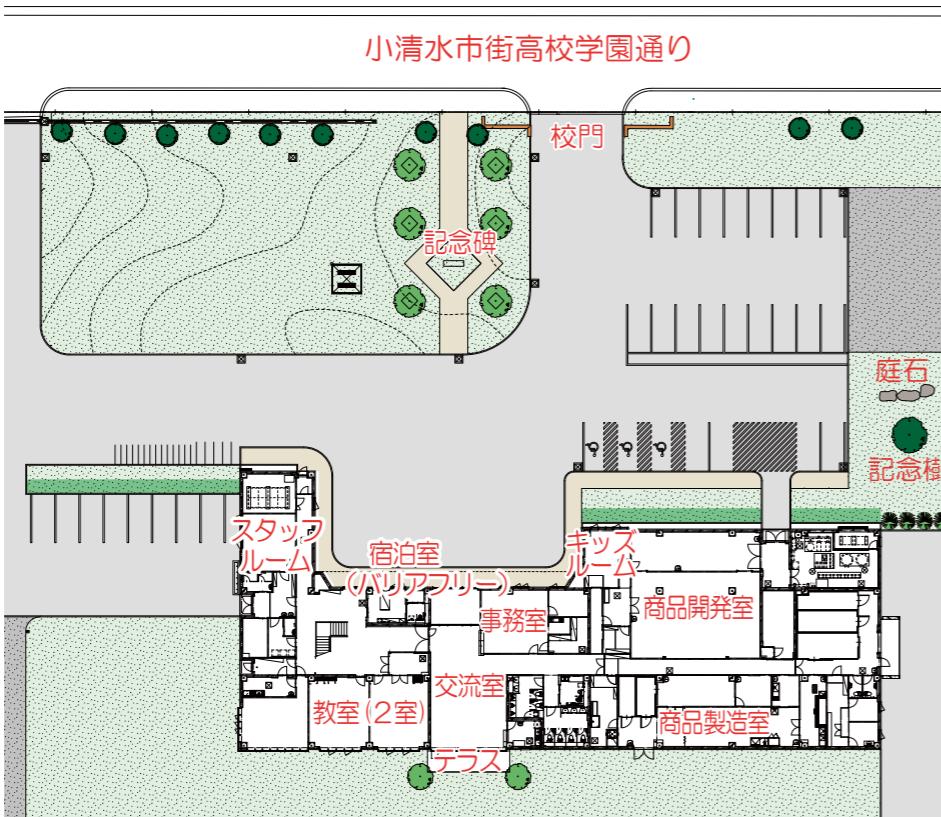
町の特産物を活用した加工品を製造する施設として、「商品製造室」と「商品開発室」を整備します。「商品製造室」では、じゃがいもや芋類などの加工品を製造します。

道の駅にある活性化センターの機能を移転した「商品開発室」では、新商品開発を行うほか、活性化センターと同様にグループによる商品製造や開発研究を利用することができます。新たにキッズルームを整備しますので、お子様連れの方も安心して利用することができます。

### 農業振興拠点施設 実施設計の概要

**①農業担い手育成プロジェクト拠点施設**  
農作業支援組織の活動拠点として(スタッフルーム等)に、担い手養成学校運営のための教室2室、短期雇用労働者や農業研修生及び農業

宿泊室(12室)  
スタッフルーム  
宿泊室(バリアフリー)  
教室(2室)  
交流室  
キッズルーム  
事務室  
商品開発室  
商品製造室  
テラス  
記念碑  
記念樹  
庭石  
校門



☎ (62) 4474

役場産業課産業振興係

お問い合わせ先

敷地内に温泉熱を活用することで冬期間も利用可能な園芸ハウスを2棟整備し、農作業支援員の農閑期や冬期間を含めた通年雇用を創出するとともに、収穫物の販売による収益で雇用の安定を図ります。通常冬期間では手に入れることのできない野菜などを付加価値の高い作物の栽培を予定しています。また、将来的には農業体験ツアーの収穫体験としての利用も想定します。

### ④温泉熱活用園芸ハウス

敷地内に温泉熱を活用することで冬期間も利用可能な園芸ハウスを2棟整備し、農作業支援員の農閑期や冬期間を含めた通年雇用を創出するとともに、収穫物の販売による収益で雇用の安定を図ります。通常冬期間では手に入れることのできない野菜などを付加価値の高い作物の栽培を予定しています。また、将来的には農業体験ツアーの収穫体験としての利

### 活性化センターの利用停止について

本整備による活性化センター機能の移転に伴いまして、現施設の利用は11月末をもって停止する予定です。

ご利用いただいている皆さまにはご迷惑とご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ⑤温泉資源の有効活用

町のエネルギー資源である温泉を有効活用し、園芸ハウスの熱源、拠点施設のロードヒーティング、床暖、給湯設備に温泉熱を利用することができる。外構には、24台分の駐車スペースを設け、拠点施設側の歩道にはロードヒーティングを整備することで利用者の利便性を高めています。また、植栽を設けることで景観との一体化を図りつつ、小清水高等学校の記念碑や記念樹などの高校の面影を随所に残すことで、地域の歴史を未来へ継承します。

掘削したら5号源泉の温泉を活用します。

### ③交流空間、外構

拠点施設に交流室やコワーキングスペースを設け、加工室の利用者をはじめ、農業体験参加者など施設を訪れた人々の憩いと交流の場となる空間を整備します。外構には、24台分の駐車スペースを設け、拠点施設側の歩道にはロードヒーティングを整備することで利用者の利便性を高めています。また、植栽を設けることで景観との一体化を図りつつ、小清水高等学校の記念碑や記念樹などの高校の面影を随所に残すことで、地域の歴史を未来へ継承します。

### ②農業振興拠点施設 実施設計の概要

敷地内に温泉熱を活用することで冬期間も利用可能な園芸ハウスを2棟整備し、農作業支援員の農閑期や冬期間を含めた通年雇用を創出するとともに、収穫物の販売による収益で雇用の安定を図ります。通常冬期間では手に入れることのできない野菜などを付加価値の高い作物の栽培を予定しています。また、将来的には農業体験ツアーの収穫体験としての利

体験ツアー客のための宿泊室13室(1室2名12室、バリアフリー1室)、事業運営のための事務室を整備します。